



わたしが選ぶ 渥美半島

キラリ100選

今年7月から8月まで募集した「渥美半島キラリ100選」には、732点の応募がありました。これらの情報の中から、「これはお宝だ」「自慢できる」「意外と知られていない」といった情報を100点に絞り、「キラリ100選」を決定しました。

そして、この中でも、特に推薦理由やエピソードが優れているもの、また、新田原市の観光に役立ちそうなものなど11点を優秀賞に選びましたので、順次紹介していきます。

応募番号 1

シデコブシ 群落ネットワーク

田原市田原町
かなだもとひろ
金田 元弘さん

推薦理由

「シデコブシ」はモクレン科の植物で、自生地が限定されたいへんめずらしい植物です。桜の咲く少し前に、白や薄ピンクの花を付けて枯野に華やかさを添えます。訪れる人の目を楽しませ、心をなごませてくれる「シデコブシ」。半島内の自生地をウォーキングコースとしてネットワーク化すれば、たくさんの人々が集まり、新たな交流の場になると思います。



●黒河湿地植物群落



●桜



●伊川津



●藤七原湿地植物群落

■人口と世帯数		
総人口	66,435人	
男性	33,382人	
女性	33,053人	
世帯数	20,006世帯	
出生	55人	死亡 42人
転入	229人	転出 155人
増減	87人	平成17年10月1日現在 増減は9月中
■行政面積		
	188.58km ²	

「笑顔」になるため、出会うために生きているのかもしれない。そこで、まずは、皆さんが読んで笑顔になってくれるような、作れるような「広報たはら」にできたらと思います。道のりは長いかな。(KA)

【写真】蔵王山展望まつりで、自然な笑顔を見せてくれた子どもたち。

われわれ広報担当はといいますと、慣れない新体制に惑わされつつ、慌ただしい毎日を送っています。ただ、このように笑顔を忘れがちなきども、人の笑顔を见たり、自分が笑顔になれたりすると、やはりホッとするものです。「笑顔」には、不思議な力がありますよね。よく考えてみたら、わたしたち人間は、「笑顔」になるため、出会うために生きているのかもしれない。そこで、まずは、皆さんが読んで笑顔になってくれるような、作れるような「広報たはら」にできたらと思います。道のりは長いかな。(KA)



今月の「表紙」
新「田原市」が誕生して1か月。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。